

令和2年度 第4回浪岡自治区地域協議会 《概要》

■日 時 令和2年11月20日(金)午後1時30分

■場 所 浪岡庁舎2階 大会議室

■出席者

○委員：一戸 千エ、一戸 善正、伊藤 芳男、工藤 修一、佐藤 文一、佐藤 二彦、清野 葎子、田中 美穂子、森 健、山内 一修、山谷 和寿（11名）

欠席委員：奥瀬 留美子、小倉 保英、後藤 公司、常田 あきえ、奈良岡 寿広、成田 昭子、前田 康弘、山田 欣也

○職員

浪岡区長：棟方 牧人

浪岡事務所副所長：三浦 大延、次長：小笠原 聡

企画部 財政課副参事：鈴木 健司、財政課主幹：渡邊 健徳

福祉部 介護保険課長：福島 清裕、介護保険課主幹：田澤 康治

高齢者支援課長：高野 雅子、高齢者支援課副参事：田中 菜穂子

浪岡事務所 総務課長：小倉 信三、総務課主幹：一戸 健司

健康福祉課長：小形 麻理、地域づくり振興課長：木村 浩一

事務局（地域づくり振興課）：鳥谷部 稚子、田中 綾子、山谷 未侑

■会議内容

会長選任

山内行雄委員が一身上の都合により委員及び会長職を辞任されたため、当日出席委員の互選により伊藤芳男委員が会長に選任されました。

案 件

① 令和3年度予算編成方針について

企画部財政課から、『「青森市財政プラン（2019～2023）ローリング版」及び「令和3年度予算編成方針」の概要』等に基づき説明。（別添資料参照）

◎委員からの主な意見等

委員 財政が厳しい中で、子ども達にエアコンやパソコンを整備するということですが、その他の事業の予算はどうなっていますか。

財政課 すべての事業にシーリングをかけて予算を縮減するわけではありません。チャレンジ枠としては「ひと創り」のほかにも、「しごと創り」のスマート農業や、「やさしい街」では浪岡に特化した事業として、浪岡病院でヘルステックを活用した健康まちづくり、「つよい街」では流雪溝の整備を加速するなど、様々なところに力を入れて取り組んでまいります。

委員 今回は予算編成方針及び重点事項の説明ですが、今後、予算の使い方の説明もありますか。

財政課 例年同様、2月中頃に予算編成後の状況を説明させていただきたい。

② 「青森市高齢者福祉・介護保険事業計画第8期計画素案」に係るわたしの意見提案制度の実施について

福祉部介護保険課から、「青森市高齢者福祉・介護保険事業計画第8期計画素案の概要」等に基づき説明。(別添資料参照)

◎委員からの主な意見等

委員 「認知症の早期発見・早期対応」とあるが、誰が早期発見してくれるのか。また、「地域包括支援センターの機能の充実」、「見守り体制の強化」とありますが、どういうことを強化するのか。「地域で支え合う」とは、いつどこで、誰が教育してくれるのでしょうか。

高齢者支援課 医療関係者、介護事業者、町会、民生委員、子ども達など、地域で見守り、安心して暮らしていただけるような体制を作り上げていきたいと考えております。認知症の方を見守るためにサポーターを養成しており、体制を充実させてまいります。

健康福祉課 浪岡地区の地域包括支援センターは、浪岡総合保健福祉センターの社会福祉協議会の中にあり、年度初めに体制の周知をしておりました。また、健康福祉課でもいろいろな問い合わせに応じ、その都度関係機関で協議しながら対応しているところです。今後も周知してまいります。

委員 第7期計画のフォローアップでは高齢者の社会参加率が低いと なっていますが、コロナ拡大によって外出自粛となり更に低くなる可能性があります。コロナを踏まえて、社会参加を増やすには どうするか検討し、高齢者の健康づくりについても見直しして いただくよう要望します。

委員 施策として「成年後見制度の利用促進」を取り上げた目的、制 度の利用支援、強化の具体的な取組を教えてください。

高齢者支援課 成年後見制度は以前からあり、今後ますます必要になっていく と考えられますが、制度を知らない人が多い。認知症などで日 常生活や金銭管理において判断能力が不十分な方を支援するため、 相談窓口の周知、利用の支援など、制度の普及・啓発を行い、必 要であれば成年後見につなげていきます。

健康福祉課 健康福祉課でも、御相談いただければ関係機関と協議して対応 しており、成年後見を必要とする方に身寄りがない場合は市長申 立てを行っております。気軽に相談していただきたい。

③ 浪岡地区の住所表記について

浪岡事務所総務課から、「浪岡地区の住所表記について」に基づき説明。(別添 資料参照)

◎委員からの主な意見等

委員 昨年提出した意見書でも要望したとおりの内容であり、このま ま進めていただきたい。

その他

事務局から、検討部会の検討状況について中間報告しました。

組織の設置目的について、「りんごの町」「農業のまち」「中世の里」などの浪岡の特徴や良さを生かし、地域の活性化を図っていくイメージで検討が進んでおり、組織のメンバーは地域の各種団体の代表を主体とすること、また、若者の意見を取り入れていくことなどの意見が挙がっております。今後、組織について更に具体的に検討を進め、その結果を協議会の場で議論し決定していただきたい。

◎委員からの主な意見等

委員 今後、検討部会は何回予定していますか。

事務局 12月、1月、2月の計3回を予定しております。